令和2年度 特別支援学校寄贈物品　使用状況報告書【2年目】

Ｐ　Ｔ　Ａ名	静岡県立浜松視覚特別支援学校PTA
学　校　名	静岡県立浜松視覚特別支援学校 ☑ 視覚障害　☐ 聴覚障害　☐ 知的障害　☐ 肢体不自由　☐ 病弱
設　置　部	☑ 幼稚部　☑ 小学部　☑ 中学部　☑ 高等部
全校児童・生徒数	32

1. 使用状況

寄贈物品名	ゴールボールのゴール
使用学年及び人数	小学部教科グループ3人、中学部生徒2人、高等部普通科7人 高等部専攻科（スポーツ部所属生徒）3人　　計　15人
使用頻度	体育：9月の約1ヶ月、ゴールボールの授業で使用 部活動：9月～約3ヶ月使用
使用状況	視覚障害者スポーツの代表格で、パラリンピック種目にもなっている「ゴールボール」体育では、約1ヶ月の単元を組んで、小学部から高等部普通科まで取り組んでおり、ゴールを使用して実施。 部活動では、11月に行われるゴールボール東海大会に向けて、練習を行っており、ゴールを使用。 また、卒業生などで組織する、外部団体が施設利用で本校の体育館を使用し、ゴールボールゴールを使用している。
物品の使用による変化や効果	以前は、ゴールサイズのゴム紐を張って、ゴールに見立ててゴールボールを行っていた。守備練習だけであれば、ゴム紐のゴールで問題ないが、ゴールボールでは、攻撃の際、ゴールに体をぶつけて、背中で自分の立ち位置や、投げる方向を感じ取って、投球するため、実際のゴールを使用することで、より実践に近い練習を行うことができた。また、より実践に近い練習を行うことで、昨年までは、参加できなかった、大会にも参加することができた。
今後の活用の見通しや課題	ゴールボールは男女に分かれて行う競技のため、本校では、女子選手が少なく、大会に参加できていない状況である。ゴールボールの魅力や面白さを広く伝えて女子選手の育成を進めていきたい。
その他希望や所感など	障害者スポーツの器具は高額な物が多い為、サポートしていただいて非常に助かっています。

2. 活用の様子

中学部・高等部普通科の授業でゴールボールを行っている様子